

科目名	生成AIで変わる情報システム	
担当講師	宮川裕之、寺尾敦、村田和義、居駒幹夫、弥生隆明	
分類	選択	
授業時間数（時間）	7.5	
授業形態	対面	
授業の概要	<p>2022年に登場したChatGPTにより、人工知能の可能性が大きく広がり、ユーザーとの対話を通じて様々な質問に答えたり、創造的な文章を生成する能力を示した。</p> <p>また、社会の多岐にわたる分野での応用が進み、テクノロジーと人間の関係が新たな段階に入っている。</p> <p>本講義では、生成系AIの中身についての解説とともに、生成系AIが広義の情報システムに対してどのようなインパクトを持つのかを、各分野の専門家により解説する。</p>	
特色とメリット		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生成系AIの歴史や仕掛けについて最低限の知識を持つ。 ・情報、経済、経営、認知科学といった様々な分野における広義の情報システムに対して、生成系AIがどのようなインパクトを与える可能性があるのかを知る。 	
内容	1	【イントロダクション】 生成系AIに至る人工知能（AI）の歴史を概観する。特に深層ニューラルネットワークの進化に焦点を当て、現代の生成系AIへの影響を探り、重要な技術要素であるアテンションベースのトランスフォーマについても解説する。この技術が自然言語処理や画像生成などにどのように応用されているかを解説し、組織・人間を含む広義の情報システムに対してどのようなインパクトがあり得るのかを概観する（居駒）。
	2	【情報分野でのインパクト1】 情報システム開発（要件定義・設計・開発・テストなど）・機能に対する生成系AIのインパクトについて、実例を交えながら紹介する（弥生）。
	3	【情報分野でのインパクト2】 人間とコンピュータのインタフェース部分における生成系AIのインパクト（村田）
	4	【組織でのインパクト】 企業・行政等の組織に対する生成系AIのインパクト（宮川）
	5	【人間に対するインパクト】 生成系AIによる人間の認知プロセスの理解の可能性（寺尾）
受講の前提条件	特になし	
事前学習	特になし	
事後学習	特になし	
参考文献・オンライ	特になし	